

令和5年度 奈良女子大学 健康なら 21Step アップ事業
今年度テーマは、『こころとからだで「つながる・スポーツ」』

奈良女子大学では、奈良県ならびに市町村が推進する「健康なら 21 計画」と連携して、身体運動を通じて「健康づくりによる地域の活性化」に貢献することを目的に、幼児から高齢者まで様々な世代を対象とした運動プログラムの開発や、それらの普及にかかわる指導者の育成を課題としています。本事業では、**運動指導に携わっておられる新規会員を随時募集しています。**

第2回フォローアップ研修会

奈良体育学会(日本体育・スポーツ・健康学会の地域協力学会)との共催による公開シンポジウム。テーマは、昨年に引き続き「奈良のスポーツ遺産について考える」---長い歴史を持つ「奈良のスポーツ遺産」とはどのようなものなのでしょうか。昨年度は、「有形の遺産」にフォーカスし、県内3つの諸機関(天理大学附属天理参考館、奈良県立万葉文化館、葛城市相撲館「けはや座」)が所蔵する「地元奈良」に関わる「スポーツ遺産」に着目し、その広がりや学術的な意義等を探りました。いうまでもなく、「遺産」には「無形」のものも含まれますし、とくに本学会の特徴ともいえる体育・スポーツ・運動等はいわゆる「無形の遺産」と深く関わっています。今年度もテーマを継承し「奈良のスポーツ遺産」の具体的な内容を学術情報として共有し、「奈良のスポーツ遺産」が「教育」、「研究」、「暮らし」の中でどのように活かされているのかという点に着目します。シンポジストはいずれも地元の3つの大学で教鞭をとり、これまで直接関わってこられた個別テーマから、話題提供します。

今年度シンポジウムは一般公開ですので、会員以外の方もお気軽にご参加ください。事前申し込み不要です。

奈良体育学会共催 一般公開シンポジウム

2023 年11月 25 日(土)

14:40~16:40 奈良女子大学文学系 N 棟 3 階 **N302** 14:10 受付開始

「奈良のスポーツ遺産について考える Part 2」

●シンポジスト:

井上 邦子 (奈良教育大学): 奈良の民俗スポーツ: スモウ神事を事例として

田里 千代 (天理大学) : スポーツ遺産をいかに研究するか

星野 聡子 (奈良女子大学): 奈良女子大学での武道教育

●コーディネーター: 松井 良明 (奈良工業高等専門学校)

生協食堂は休業です。待機場所は S228 をご用意していますが会場から遠く「ご不自由をおかけします。できるだけ直前にいらしてください。なお、第 3 回目は 2 月 17 日の開催(貯金体操と指導者サロン)を予定。

奈良女子大学地域貢献事業「健康なら 21Step アップ事業」

生活環境学部 心身健康学科 スポーツ健康科学コース <http://www.nara-wu.ac.jp/life/health-new/sports.science/index.html>

問い合わせ先 星野:satoko@cc.nara-wu.ac.jp 電話ファックス 0742-20-3350

石坂:yishizaka@cc.nara-wu.ac.jp 電話ファックス 0742-20-3347